

令和7年度ミュージアム・シアター

バレエ・スエドワ解散100周年記念

舞踊と美術

11月24日(月・休)

第1部 ダンス・パフォーマンス From there.

第2部 講演会

忘れられたバレエ団

（バレエ・スエドワとロルフ・ド・マレ）



バレエ・スエドワ公式プログラム（表紙画：フェルナン・レジェ）1923年 永楽屋 バレエ・コレクション
連動企画「セレクション-バレエ・スエドワと美術」（MOMAS コレクション 9.6-11.30）開催中！上記資料も展示中。

展覧会で紹介する機会の少ない時間芸術を楽しんでいただくイベント、ミュージアム・シアター。今回は、知られざるバレエ団「バレエ・スエドワ」の解散 100 周年を記念して、ダンスと美術のコラボレーションをテーマに、イベントを開催します。

第1部では、地下の吹き抜け空間で、振付・演出家として活躍中の平原慎太郎氏が新作を披露します。バレエ・スエドワから得たインスピレーションを出発点に、当館の黒川紀章による建築構造を独自に解釈。様々な踊りがクロスする内容です。第2部では、舞踊史研究家の芳賀直子氏がバレエ・スエドワについて貴重な資料画像を交えて詳しく紹介します。

バレエ・スエドワとは？

スウェーデンの貴族、ロルフ・ド・マレが主宰したバレエ団。

活動期間はたった5年（1920-25年）ながら、バレエでの初の映像使用等バレエ史上極めて重要な業績を残した。レオナール・フジタやフェルナン・レジェら多くの芸術家が舞台美術や衣装などを手がけたことも特徴。

第1部 From there.

出演：平原慎太郎

池上たっくん、稲田涼香、今泉かなこ
杉崎舞花、AYUBO

時間：11:30～/13:30～

（1日2回公演、各回15分程度）

場所：地階センターホール

※立見でのご鑑賞となります

第2部 忘れられたバレエ団

～バレエ・スエドワとロルフ・ド・マレ～

講師：芳賀直子

時間：15:00～16:30（開場は14:30）

場所：2階講堂

定員：80名（当日先着順）

※いずれも申込不要。参加費無料



©Hajime Kato

平原慎太郎 Hirahara Shintaro

振付・演出など舞台芸術における空間構成全般を創作する作家として活動。
シアターカンパニー【OrganWorks】主宰。
自作品発表のほか中山晃子、富安由真、逢葉竜太など他分野のアーティストとの交流も積極的に行う。
2021年、TOKYO2020オリンピック開閉会式振付担当。2022年、「浜辺のインシュタイン」ミュージック・ペンクラブ現代音楽部門年度賞受賞。



©Photo SAi

芳賀直子 Haga Naoko

舞踊史研究家。
1998年の「バレエ・リュス」展（セゾン美術館）を皮切りに、執筆、講演、展覧会監修等を行うようになる。近年では「パリ・オペラ座～芸術の殿堂」（アーティゾン美術館、2022-23年）学術協力など。著書に「バレエ・ヒストリー」（世界文化社）他。
大正大学客員教授、一般社団法人日本バレエ・リュス&バレエ・スエドワ協会理事。